

5-3. ペットボトルレスキューの方法

落水者・溺者を発見したときの、ペットボトルを用いての救助の流れを説明する。



【救助要請】

①落水者・溺者を発見、付近にいる人に助けを求め、119番に通報し、救助を要請する。

「溺れている人がいる！」

「誰か、助けてください！」

「119番お願いします！」

【声掛け】

②落水者・溺者に声掛けし、救助することを伝える、落ち着かせる、励ます、ラッコ浮き（着衣泳）の体制を指示する。

【浮力確保】

③ペットボトル（2L）にロープを結びつける（リングキャップのついたレスキューキャップがあると便利）。

ペットボトルに少量の水を入れると向かい風にも強く、遠心力が働いて良く飛ぶ。

④ロープの端を確保し（端を足で踏んでおく、他の人に持ってもらい、自分で持つ）、

「浮くためのペットボトルを投げるよ！ 抱えて浮いて！」と声をかけてから、落水者・溺者に向かってペットボトルを手の届く範囲に投げる。

【注意！】

この時、ロープを手や体に巻きつけない。落水者・溺者に引きづり込まれたり、波と一緒に持っていかれたりする。）

★二重事故を起こさないために、無理な救助は行わない。

⑤ペットボトルが落水者・溺者の近く（手の届く範囲）に落ちなかったら、ロープを手繰り寄せて④を繰り返す。

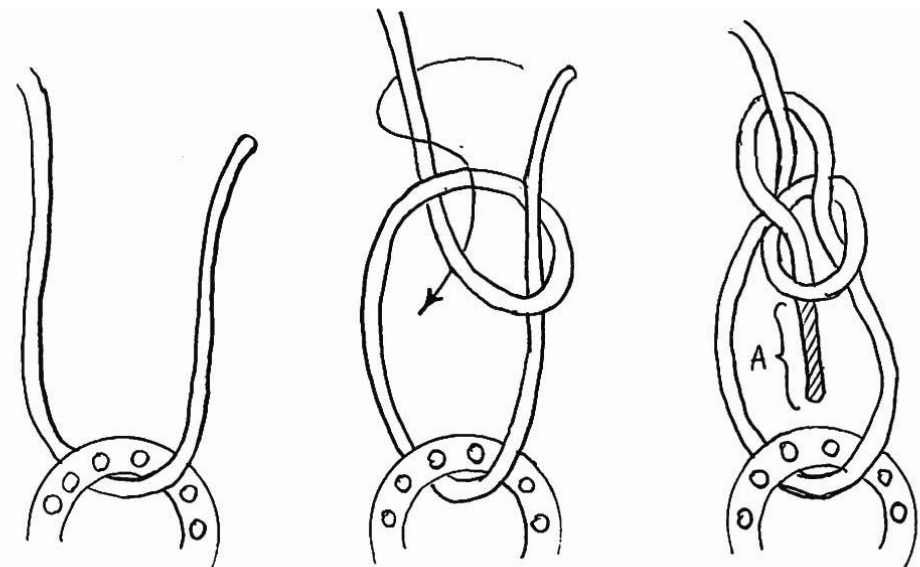
⑥落水者・溺者がペットボトルを確保したら、それを胸の前体にぴったりつけて持って身体を伸ばし、あおむけに浮かぶよう指示する。

⑦落水者・溺者が流れていかないよう保持し、救助隊の到着を待つ。あるいは岸に上られる場所に引っ張る。



【ペットボトルへのロープの結び方】

スローロープをレスキューキャップに結びます。ほどけない結び方ならば、どのような結び方でも良いですが、有効性の高い結び方を覚えておきましょう。下図は、海でよく使われるもやい結びです。



【結ぶときの注意】

・図3の斜線の部分は、長めに（5cm以上）とってください。短すぎると使用中にロープが外れることがあります。



ロープ装着写真